

レクリエーション かながわ

スコール

(S C O L E)

発行日 平成6年7月15日
 発行 神奈川県
 レクリエーション協会
 編集 広報委員会
 事務局 〒221
 横浜市神奈川区三ツ沢
 西町3-1
 神奈川県立スポーツ
 会館内
 電話 (045)320-2430

かながわレクリエーションネットワークをサポートする



第8回かながわレクフェスティバル開会式(6/26)「みんなて、タントン、かたたたき」(井上氏撮影)

時評

来るべき
 二十一世紀への
 活動に向けて

理事 波多野 良子

時代の節目を迎え、二十一世紀の時代が目前に迫っています。

戦後の混乱もないころ、原語のままの「レクリエーション」という言葉が使用され、活性化した新しい雰囲気魅せられて私もまた、スクエアダンスに興じていたものです。

高度経済成長、オイルショック等時代の波にもまれながら、人とのふれあい心身の健康増進、うるおいある街づくり、環境づくり等レクリエーション活動が行われてきました。

そして今、長寿社会と労働時間の短縮から「余暇」が無視できない生活課題として浮上してきました。

人生悔いなし、といえる最後の輝き、生き甲斐づくりに向けて、レクリエーションの世界は、更に重要さを増しています。

時は流れても、人間としての基本的なあり方は不変です。これまで活動に力をそそいだ方々の情熱に胸あつくなる思いがします。古くして新しいものの継承にむけて、社会的地位の確立、研究・研修事業の推進等と社会の期待に応えて発展をさせていく時期ではないでしょうか。

第11回 全国ウォークラリー大会

神奈川
三会場

川崎→横浜→相模原ウォーキングレポート



文明開化へいざスタート(横浜)

第一回大会から連続して開催している川崎会場。今回は、あいくの小雨にもかかわらず、家族連れや、職場の仲間といった参加者で熱気ムンムン。ユニークなコースや課題に果敢にチャレンジしている光景が、あちらこちらで見ることが出来ました。

参加されたみなさん、ひとりひとりが、我がまちの新たな発見と、思い出にのこる楽しいウォークラリーの一日となったことでしょう。

川崎会場(平川)

「ひばりとカモメ」「本牧パノラマ」そして「ゆったり馬車道」の三コース。一五七組、七五六名参加の横浜会場は、スタート、ゴールを別会場に設けて実施するという新しい試み。ゴール会場となった山下公園は、ふれあい広場と銘うって、各コースの参加者がゴールで一同に会するとという趣向。さわやかスポーツ体験コーナーや、チャレンジ・ザ・ゲームコーナーなどなんでもあり、ゴール後のアフターウォークを楽しんでもらおうというアイデア。小雨で一部中止となったコーナーもありましたが、参加者の歓声がいつまでも聞こえていました。

今大会の目玉として注目された、「ひばりとカモメ」コースは、海と



いってらっしゃい！気をつけて(川崎)



ゴールは目の前だ
はやる気持ちをおさえて…(横浜)



ホントかいな…(横浜)

全国一斉ウォークラリー大会、相模原市の会場として初めての開催となりました。た今大会は、ファミリーの参加を想定して、無理なく歩けるようなフィールドを選定。コース愛称も「風ひかる小径」「名所、旧跡探勝」「緑のそよ風」。各コースともそれぞれ

相模原会場

横浜出身の美空ひばりにあやかっのコース設定と課題作り、新しいコース作りというところで苦労もありました、というスタッフの声。さて来年はどんなユニークなウォークラリー大会となるでしょう！

横浜会場(青木)
(石川)



ハイッ！これがコマ図ですよ

ここがスタート位置で、こういってあーいって…
(相模原)



こちら相模原会場
ただいまスタートします。アジャ…

れ、動物とふれあう、神社仏閣を見学する、そして水辺を楽しみながら名所に親しむと、相模原ならではの三コースとしました。

大会当日は、あいくの小雨模様にもかかわらず、二〇〇名弱の参加

参加者のレベルに合わせたコースは、雨の相模原の新緑にふれ親しむには充分な一日でした。

相模原会場（蜷山）



ネエ～どっちいくの？
神奈川三会場は雨だった…。



受付風景 あれこれ（相模原）

募集

レクリエーションかながわ『スコール』シンボルマスケットイラスト

会員相互の情報源となっている『スコール』。第二十一号から誌面のサイズアップと、より楽しく親しまれる広報誌とするため、会員の皆さんから『スコール』のマスケットイラストを募集します。たくさんのご応募お待ちしております。

《募集イラスト》

神奈川県レクリエーション協会誌『スコール』のシンボルマスケットにふさわしい オリジナルなイラスト。

《応募資格》

日本レクリエーション協会公認指導者および神奈川県レクリエーション協会加盟団体の会員。
《締切り》

平成六年十一月十九日（当日消印有効）

《発表》

『スコール』の誌面上に発表致します。

尚、応募作品の著作権は神奈川県レクリエーション協会に有するものと し、作品は返却致しません。

《応募先・問合せ先》

〒221 横浜市神奈川区三ツ沢西町三
一 神奈川県立スポーツ会館内
神奈川県レクリエーション協会『スコール』マスケット・イラスト係
電話 ○四五―三二〇―二四三〇
○四五―三二〇―六四〇

よろこびを広げよう！-座間市-

座間市レクリエーションフェスティバルとふるさとまつりは、回を重ねる毎にたくさんの人々との出会い、ふれあいの場として市民の皆さんに親しまれています。なかでも七回目を迎えたレクリエーションフェスティバルは、昨年まで

の方針を若干変えまして室内の種目を中心に、ステージとフロア



ステージで魅せるマジックショー
座間市第7回レクフェスティバル



ピエロのお姉さんとヒ・ミ・ツのお話し
座間市ふるさとまつり（かにが沢公園）



若いっていいですね…
フィリングカップル全員集合！
座間市ふるさとまつり



会場せましと踊る輪、和
座間市第7回レクフェスティバル

から高齢者まで和やかな一日を過ごします。
で実施。写真はその時の一コマ。二重三重の参加者の輪は熱気でムンムン。踊る楽しさを身体で表わしている様子です。また、ステージでの華麗なマジックは見る人、演ずる人の掛け合いもピタリ。両イベント共ども

県レクだより

日本レクリエーション協会

情報より

○皆さんの手元に第四十八回全国レクリエーション大会の案内が届いていることと思います。

今年は、「悠悠と遊遊と学ぶ、神の里」というキャッチフレーズで島根県で九月二十三日～二十五日まで開催されます。領域別研究協議では、

- (1) 地域レク部会・(2) 職域レク余暇開発部会・(3) 子供の遊びとレク部会・(4) 福祉レク部会・(5) レジャーレク教育者部会・(6) 生涯スポーツ研究部会の六部会。種目別実践活動では、(1) ダンス部会・(2) 日本民踊・(3) インディアカ・(4) キャンプ・(5) 婦人卓球・(6) ウォークラリー・(7) ターゲットパードゴルフ・(8) ペタンク・(9) グラウンドゴルフ・(10) 3B 体操が行われます。申込締め切りは八月十日(必着)となっております。忘れずに申し込んでおきましょう。

○(財)日本レクリエーション協会事務局および余暇生活開発・レクリエーション総合研究所が移転しました。新事務局は 一〇一 東京都千代田区三崎町二一七 水道橋西口会館

です。また、電話はそれぞれダイヤルインとなります。主な連絡先は、人材開発本部へ認定登録/住所変更届け出) 〇三ー三 2 6 5 一ー三 六 九

- ・組織本部へ組織化/生涯スポーツ/月刊レク) 〇三ー三 2 6 5 一ー三 三 六
- ・サービスセンターへ用具書籍の注文窓口) 〇三ー三 2 6 5 一ー三 三 五

「連盟」から「協会」へ

○県レクが、改組されました。全国でも最後まで「連盟」を名乗っていた「県レク」が新しい規約とともに組織を新たに、「神奈川県レクリエーション協会」として出発しました。協会組織は、法人化を目指すために、「常任理事会」をなくし、「理事会」と「各種委員会」で構成され、日常の運営は、「役員会」と「委員長会」「専門委員会」で具体化されていきます。これに伴って、役員会、委員会が新設改編されました。役員・理事・委員長は平成六年度・七年度を担当していくことも決まりました。

平成六・七年度役員会・委員会

- 〈会 長〉 船田幸一
- 〈副会長〉 鈴木 司・牧田 勝
- 篠崎明弘
- 〈理事長〉 池端正直
- 〈副理事長〉 若木一美
- 〈理事〉 スコーレ第一七号とおり

へ選考委員会

- ★船田幸一・朝倉政之・鴻池宗男
- 鈴木 司・池端正直・依田章史

へ認定委員会

- ★池端正直・兼松ムツミ・岸 正晴
- 佐藤治郎・平川栄吉・藤野和子
- 若木一美

へ法人化準備委員会

- ★鈴木 司・新井量二・池端正直
- 倉橋則康・篠崎明弘・波多野良子
- 英 徑夫・藤野和子・若木一美

へ国体関係イベント委員会

- ★波多野良子・加藤妃生子・長谷川忠信・牧野幸江・山田昌利

へ財務委員会

- ★倉橋則康・小林正和・飛田奈加子

へ組織委員会

- ★波多野良子・若木一美

★英 徑夫・青野利夫・高木和男

高橋慎市・富岡定子

へ事業委員会

- ★岸 正晴・安藤和徳・加藤景子

佐藤堯子・別府和子・山田英子

へ公認指導者養成委員会

- ★佐藤治郎・井上正昭・久保田令子

小林尚子・佐藤純子・藤田早苗

へ研修委員会

- ★藤野和子・磯 隆司・国原伸郎

小林 薫・佐藤節子・米倉菊治郎

へ広報委員会

- ★井上 桂・青木美枝子・笹野 隆

小泉八重子

(七月七日現在)

事務局日誌

このたび、県レク運営の一端を担わせていただきことにになりました。



小林さん

皆様方のご指導ご協力をよろしく

飯島



飯島さん

本年五月から事務局へ勤務することになった小林です。第二の人生、初心にかえて、任期を全うしたいと思っております。小林

編集後記

広報委員の専門委員を任せられ、早や一年が過ぎました。初めは何もわからず足手まといにならない様、また一人よがりにならない様にと、諸先輩方にご指導していただきここまでこられた様に思えます。委員の四人衆は、廻りの方が見ても羨ましがられるくらい仲で、何度となく打ち合わせを持ち、それぞれが刺激しあい、これからのスコールはどうあるべきか等々話し合っていました。

これからも、生きた情報をどの様に、会員の方々に提供できるか、頑張っていきたいと思っております。

(青木)